

(別紙)

6 主な事業に関する調べ

事業名	災害対策本部防災 DX 機能強化事業													
施策の実施状況、成果・進捗状況・問題点等														
(単位：千円)														
当初予算額	補正等予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額									
139,137	(2月) ▲14,000 (流用) ▲9,072	116,065	115,706	0	359									
<p>1 主な事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ 防災 DX の一環として、被害情報、気象情報、避難情報など災害時に必要な情報を集約・整理し、電子地図上に表示するなどして、状況判断や意思決定を迅速化し、先行的かつ並行的な災害対応を支援する「総合防災情報システム」を広島県と共同で構築した。・ 入札減に伴う減額補正を2月に実施。 <p><事業費内訳></p> <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>支出済額</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>システム構築費</td><td>115,706千円</td><td>うち100,032千円は広島県への負担金として支出。</td></tr><tr><td>計</td><td>115,706千円</td><td></td></tr></tbody></table> <p>※緊急防災・減災事業債を充当</p> <p>2 事業の成果（改善状況）・課題等</p> <ul style="list-style-type: none">・ 令和7年4月から「総合防災情報システム」の運用を開始。・ 同年5月22日に実施した災害対策本部訓練でシステムを利用した災害対応の確認を行なったほか、同年5月23日には市町村と避難情報等に係る情報発信訓練を行い、実災害の発生に備えた。・ 陸上自衛隊、警察本部、各消防局などにおけるシステム利用準備も整え、<u>各機関との情報共有環境が構築できた</u>ところ。・ 引き続いて他システムとのデータ連係を図る等、システムで取り扱う災害関係情報の拡充を図る予定。						項目	支出済額	備考	システム構築費	115,706千円	うち100,032千円は広島県への負担金として支出。	計	115,706千円	
項目	支出済額	備考												
システム構築費	115,706千円	うち100,032千円は広島県への負担金として支出。												
計	115,706千円													

事業名	災害オペレーション室整備事業				
施策の実施状況、成果・進捗状況・問題点等					
(単位：千円)					
当初予算額	補正等予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
63,715	(2月)▲8,950 (流用)13,000 (所管換配当)12,270	80,035	78,763	0	1,272

1 主な事業の実施状況

・ 県庁第2庁舎4階に、平時は会議室として利用し、大規模災害時は事務局活動スペースとして利用する「災害オペレーション室」を整備した。

・ 執行見込額の減に伴う減額補正を2月に実施。

<事業費内訳>

項目	支出済額	内容
可動壁の整備、OAフロア化	73,044千円	・ 県庁第2庁舎第22、33、34会議室の合計約500平方メートル
電子機器等の更新・整備	5,719千円	・ 大型ディスプレイ、電子黒板、ノートパソコン等の整備 ・ 複合機、ホワイトボードの更新
計	78,763千円	

※緊急防災・減災事業債を充当

2 事業の成果（改善状況）・課題等

・ 令和7年4月から、200名程度の規模で一体的に災害対応できる「災害オペレーション室」の運用を開始し、関係機関との連携強化や情報共有の迅速化を可能とする体制を整えた。

・ 整備後は、各種訓練や研修を通じて、災害オペレーション室の運用確認を行い、実災害の発生に備えた。

・ 災害対策本部訓練（同年5月22日）等において、陸上自衛隊、警察本部、消防局など災害時に利用する外部機関からの視察も多数行われているところ。

・ 令和7年度は、中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練（同年11月）など、外部機関を含めた図上訓練を通じて、より円滑な運用に努める。